（様式2）

令和6年度　学校園評価シート

氏名	加古川市立浜の宮幼稚園

1　教育目標　　心豊かに学び合い　育ち合うこどもの育成

2　基本方針

基本的生活習慣の確立と情緒の安定を図る。
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮して指導を行い、幼児が主体的に遊びを展開できるような環境を構成する。
幼児の特性や発達段階に応じた教育的ニーズを把握し、一人一人に応じた支援・指導を行う。

3　指導目標

心も体も健やかで明るい子　　思いやりがあり　心の優しい子　　様々な経験を通して　主体的に遊ぶ子
自分の思いを伝え　素直に表現する子　　感じる心　考える力がある子

評価基準
A:できている　　B:だいたいできている　　C:あまりできていない　　D:できていない　　E：わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
①基本的生活習慣の確立を図る。	◎元気に挨拶をする、自分の身の回りのことを自分でしようとする等、自立心が育っているか。	B	・月に1度、あいさつ当番を決めて登園時にあいさつ運動をしたことで、恥ずかしがらずに挨拶ができるようになった。しかし、地域の方に挨拶するのは少し躊躇してしまう姿があるので、教師がより率先して挨拶をし見本となれるようにしていきたい。 ・登降園の時間に間に合わないことが日常になっている幼児が多く、保護者自身が時間に間に合わない様子が見られ、保護者への啓発をもっと行うべきであった。	・挨拶は家庭の中でどこまで意識して挨拶できているかが大きい。家庭と連携を密にすることが大切だ。 ・挨拶は返ってこなくてもよい。自分が挨拶して気持ち良いと感じられるかが大事であり、諦めずに続けていくことは必要である。	B
②道徳性の芽生えを培う。	◎身近な自然や環境に親しみ、驚きや発見から感動する心、命を感じる思いやりの心が育っているか。	A	・園前の松林を有効的に使用することができ、バッタを取りにいったり、まつぼっくりを拾いに行ったりすることができた。 ・カブトムシ・チョウ等、小虫やウサギの飼育を経て、命の大切さや生き物を大切に思う気持が育っている。	・家庭ではなかなかできないような、触れて感じる体験活動をたくさん取り入れている。実際に感じられることは大切である。これからも大事にしてほしい。	A
③思いやりの心をもち、自立と協同の態度を培う。	◎友達や異年齢の幼児との遊びを通して相手の気持ちを知り、時には挫折や葛藤を味わいながら気持ちをコントロールし、相手の気持ちを尊重しようとする心が育っているか。	B	・年度始めに異年齢児のペアを作り、年間を通して関わりの機会を多くもつことで、親しみを感じやすかった。また、少人数のため異年齢の関わりの機会を多くもつことができた。その中で優しく関わる姿や憧れの気持ちをもつなどの効果が見られた。 ・幼児の気持ちをくみ取りながら、共感したり周りに伝えたりしていくことで、少しずつ友達同士で声を掛け合ったり、我慢したりという姿が見えてきている。	・発表会の様子の中で、困っている子を自然と助け合う姿が見られた。この年齢のこどもたちでもしっかりと身についていることがわかり、うれしく思った。 ・異年齢児のペアはよい考えである。少人数を活かしてさりげない優しさが日頃から育つように関わっていることが感じられる。	A
④家庭との連携を図る。	◎園での生活の様子や成長を伝えたり、子育ての不安や悩みを受け止めたりして、地域の子育てセンター的な役割を果たしているか。	A	・小規模園で保護者と話をする機会が多く、幼児の家庭での様子や保護者の子育ての悩みを情報共有することができた。 ・様々な家庭状況があり、保育者としてどこまで踏みこむか線引きが難しいが、保護者にとっても園が安心して自分を出せる場となるように、寄り添うことが必要となる。保育者も様々な知識を得たり、それぞれの立場に立って考えたりするなど、日々学んでいかなければならない。	・少人数を生かして、いつも明るく園全体がよい雰囲気であることが感じられる。 ・いつも丁寧に話を聞いてもらい安心してこどもを預けられることに感謝している。	A
⑤職員の資質向上を目指す。	◎職員同士が園内で遊びや活動の連携、幼児についての共通理解に努め、保育に生かすことができたか。	B	・浜の宮保育園との年間を通じて継続した交流活動から、様々な学年や保育を見る機会があり、よい刺激を受けた。今後も継続的に交流していきたい。 ・保育の振り返りやカンファレンスを気兼ねなく話し合える雰囲気ができている。幼児の姿を職員間で多面的に捉えることで新たな視点に気付き、保育者が関わり方や環境構成を工夫することにつながった。	・十分に研修に取り組んでいるとは思う。 ・こどもを捉えるにもいろいろな視点から見てみることが大事である。偏った視点とならないように心がけてほしい。	A